



Society5.0の地域実装と国際展開

平成30年4月12日

野田総務大臣提出資料

Society5.0の地域実装と国際展開

- 人口減少、少子化、高齢化などの「静かなる有事」が進行しつつある日本は課題山積。2030年代までには、既存の社会システムのままでは、経済や国民生活が立ちゆかなくなるおそれ。
- 「静かなる有事」をチャンスと捉え、アグレッシブなICT導入により「変革の実行」に繋ぐための改革プランとして、「未来をつかむTECH戦略」(仮称)を策定中。
- 課題先進国としての「変革モデル」を世界に先駆けて実現し、同様の課題を抱える諸外国に展開することで、SDGsの達成に寄与。

「未来をつかむTECH戦略」(仮称) ~「静かなる有事」をチャンスと捉え、アグレッシブなICT導入により「変革の実行」へ~



日本

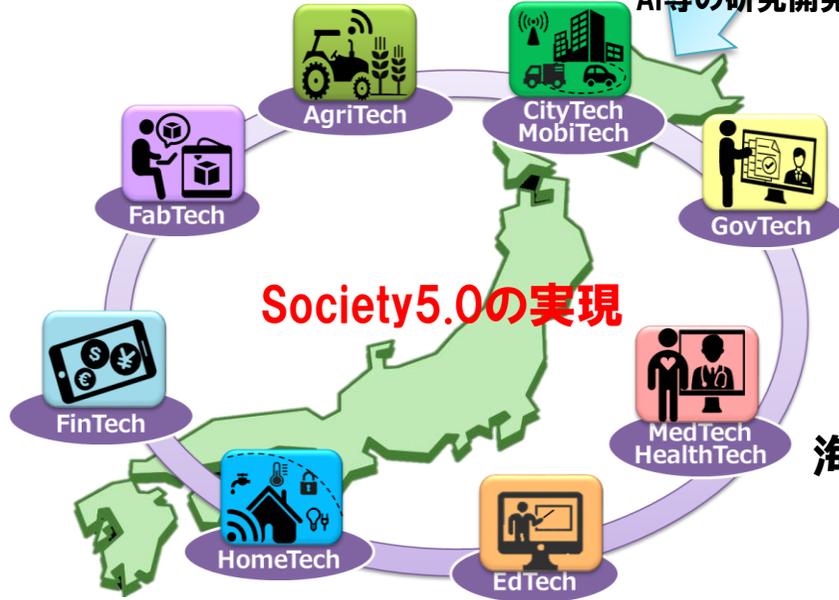
人口：1.3億(2010年)→1.1億(2040年)
 高齢化率：23%(2010年)→38%(2040年)
 GDPシェア：6.3%(2010年)→3.8%(2040年)

- ・全国各地域へのICT導入
- ・5G・光ファイバ等のICTインフラ展開
- ・ワイヤレスによる成長戦略
- ・次世代のネットワーク技術やAI等の研究開発・国際標準化

世界

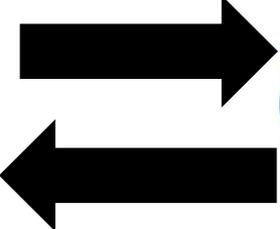
人口：69億(2010年)→92億(2040年)
 高齢化率：8.3%(2015年)→13%(2040年)
 GDP：新興国が先進国の2倍に(2040年)
 (新興国：中国、インド、インドネシア、ブラジル、ロシア、トルコ、メキシコ)

- ・実績あるICT課題解決モデルの海外展開
- ・人間中心のAI開発・利活用に関する国際協調



Society5.0の実現

国際展開・連携



海外需要の取り込み



SDGsの達成

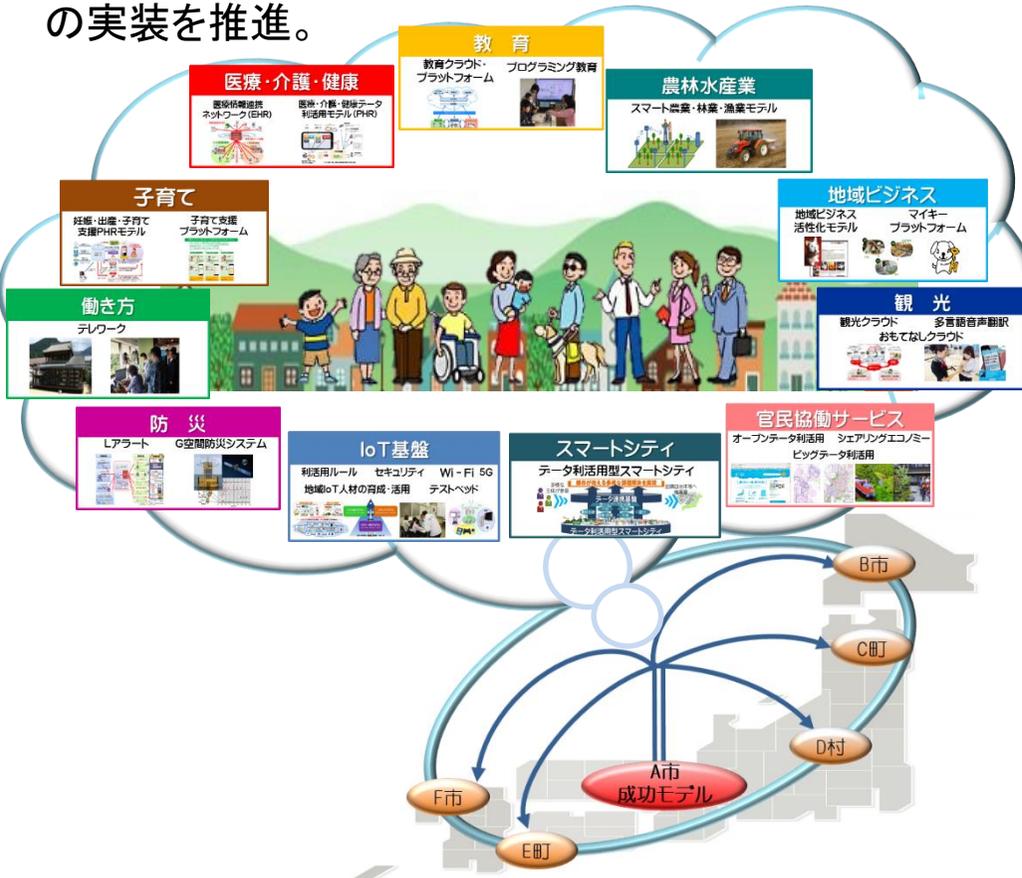
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
 世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が果たすべき「持続可能な開発目標」です

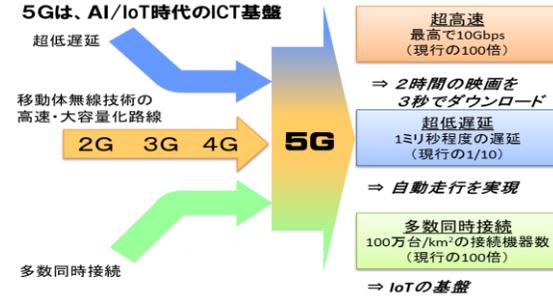
全国各地域へのICT導入

- 我が国が抱える様々な社会的課題を解決するため、ICTの利活用を各府省と連携して推進。
- ICTの利活用之际には、「先進モデルの実証」と「実証成果の地域実装」の好循環を創出。
- 「地域IoT実装推進ロードマップ」を着実に推進し、2020年までに800以上の地方公共団体の区域での実装を推進。



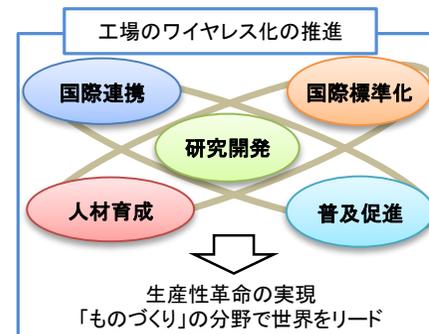
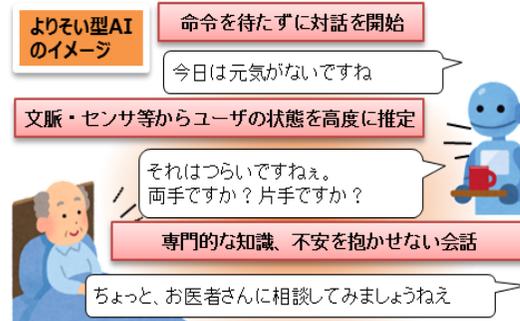
5G・光ファイバ等のICTインフラ展開

- 自動走行などAI・IoT時代における新しい産業・地域の基盤インフラとして、5G等の社会実装を推進。



次世代のネットワーク技術やAI等の研究開発・国際標準化

- AIを活用したネットワークの柔軟な制御技術や、よりよい型の対話を実現するAI技術を研究開発。
- 工場内に無線通信を円滑に導入するための最適制御技術の研究開発、標準化、普及展開を推進。



実績あるICT課題解決モデルの海外展開

- ICTプロジェクトを相手国のニーズに応じて「パッケージ」で提案し、成功事例の他国への横展開や新規分野の開拓、重点国への戦略的支援を推進。
- 人口減・高齢化等の課題先進国として、ICT課題解決変革モデルを世界に展開し、国連SDGsにも貢献。



【具体例】

➤ 防災

日本の地デジ放送を利用した緊急警報放送システムを導入。



➤ 医療

スマホを活用した日本発の遠隔医療サービスをペルーで実証。



人間中心のAI開発・利活用に関する国際協調

- AIネットワーク化の進展を見据え、「AIネットワーク社会推進会議」を設置し、AI開発ガイドライン案の公表やAI利活用の考慮事項等を検討。
- 2016年G7情報通信大臣会合で提案した国際協調に向け、国内やG7・G20・OECD等における議論を主導。

